

## 週報

# 感染性胃腸炎(腸管病原菌)検出

センター受託検査分より

検出菌 ウイルス	平成 27年												平成28年						
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月 ~7日	2月 ~14日	2月 ~21日	2月 ~28日	3月 ~6日	3月 ~13日
カンピロバクター	117	100	86	166	99	138	164	131	131	116	64	68	72	13	9	15	19	9	25
病原性大腸菌	227	185	210	229	130	190	195	127	95	134	147	174	140	42	22	39	43	34	33
腸管出血性大腸菌	0	0	0	0	4	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
サルモネラ	9	2	5	3	7	9	20	37	14	36	19	11	12	2	0	1	1	2	0
黄色ブドウ球菌 MSSA	44	32	29	27	19	31	37	26	18	26	15	25	23	4	6	3	7	5	3
黄色ブドウ球菌 MRSA	20	18	12	15	15	21	15	19	14	17	22	21	11	3	2	5	1	3	6
腸炎ピブリオ	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	3	1	1	0	0	2	7	8	2	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0
ロタウイルス	2	0	5	15	3	2	0	0	0	0	1	2	4	6	4	9	0	7	1
アデノウイルス	1	0	1	4	0	3	0	0	0	2	1	0	2	0	0	0	0	0	0
ノロウイルス	38	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21	20	3	5	7	5	1	2

\* ( )は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

## 広島県感染症発生動向週報

平成28年第10週(3月7日~3月13日)

### 2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	6	結核	6	2		2		1		1
三類	0	発生なし	0							
四類	0	発生なし	0							
五類全数	8	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	3	1		1			1	
		クロイツフェルト・ヤコブ病	1					1		
		急性脳炎	1					1		
		侵襲性肺炎球菌感染症	3	1				2		

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市 西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町  
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町 北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

広島県感染症情報センター 提供

定点・全数把握疾患週報【広島市】(第10週 3/7~3/13)

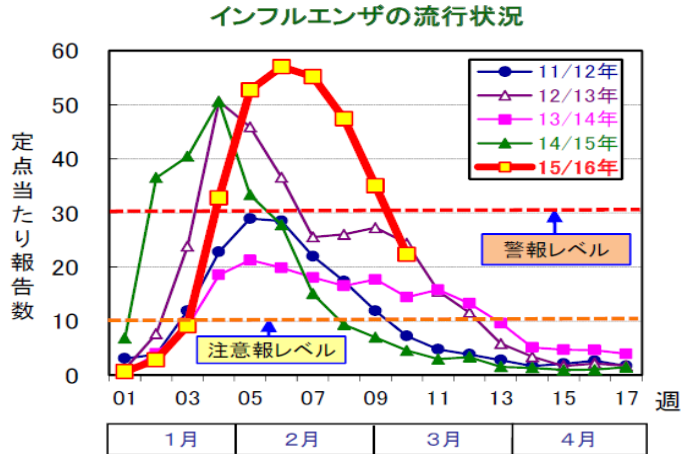
広島市感染症対策協議会/広島市感染症情報センター 提供

1. インフルエンザ

定点当たり22.3人と4週連続して減少し、警報レベル(定点当たり30人)を下回りました。ピークを過ぎたと考えられますが、まだ注意報レベル(定点当たり10人)を超えており、多い状況となっています。

また、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等は、第10週は20件の報告があり、依然として発生が続いているため、引き続き、手洗い・うがいの励行、咳エチケットなど感染予防対策を心がける必要があります。

なお、第10週の市内の基幹病院2か所(インフルエンザ定点ではない)による迅速診断キット検査結果では、A型陽性が66人、B型陽性が166人報告されています。



■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号
小児科	インフルエンザ	826	22.32	15.85	▲	小児科	流行性耳下腺炎	21	0.88	0.84	▲
小児科	咽頭結膜熱	3	0.13	0.28	◻	眼科	RSウイルス感染症	3	0.13	0.13	◻
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	63	2.63	1.95	◻		急性出血性結膜炎	-	-	-	◻
	感染性胃腸炎	231	9.63	10.33	◻		流行性角結膜炎	4	0.50	0.33	◻
	水痘	8	0.33	1.15	◻	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	◻
	手足口病	-	-	0.15	◻		無菌性髄膜炎	-	-	0.09	◻
	伝染性紅斑	32	1.33	0.28	◻		マイコプラズマ肺炎	2	0.29	0.29	◻
	突発性発しん	7	0.29	0.45	◻		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	◻
	百日咳	-	-	0.08	◻		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	14	2.00	◻	▲
	ヘルパンギーナ	2	0.08	0.02	◻						

急増減 ▲ (前週と比較しておおむね1:2以上の増減)

増減 ▲ (前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減)

微増減 ◻ (前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減)

横ばい ◻ (ほとんど増減なし)

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■ 全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	1	35	男性(60歳代)
5	急性脳炎	1	3	男性(10歳未満)
5	侵襲性肺炎球菌感染症	2	6	男性(50歳代)・1人、女性(70歳代)・1人

■ 新たに判明した病原体検出状況

新たな検査結果はありません。